

帳票ごとに、カラー／モノクロの出力設定を自動切り替え。 ムダなカラー印刷をなくし、 コスト削減、管理面での効率化をサポート。

患者様を中心とした質の高い医療の提供と先端医療研究、優れた医療人の育成を行っている千葉大学医学部附属病院様。懸案だったカラー印刷の制御を、リコーの自動プリント設定ソリューション『Ridoc IO DataSelector』が解決。印刷環境の効率化、コスト削減の徹底をサポートしています。

患者様を中心に考えた より良い医療を地域社会に提供

千葉大学医学部附属病院様は、明治7年、地域医療の拠点となる『共立病院』として設立。現在もその精神を受け継ぎ、地域社会への貢献、患者様の意思を尊重したより良い医療を提供するとともに、大学附属病院として先端医療の研究・開発、将来を担う優秀な医療人の育成を行っています。院内の情報化は、昭和53年に国立大学病院として、いち早く電子カルテを導入。「約30年前のデータも即座に見ることができる効率的な環境が整っています」(鈴木様)。また同病院は2007年、病院の基本的な役割や安全性・機能をチェックする専門機関『日本医療機能評価機構』により『病院機能評価 Ver.5.0』に認定。安心して受けられる高度な医療体制であることが証明されました。

見やすさ、医療過誤防止のためにも カラーの印刷物は不可欠

同病院では、月に約1万枚以上と大量に印刷される『注射指示箋』や、患者様の一日の予定を記した『ワークシート』など、さまざまな印刷物があります。そのほとんどはモノクロ印刷ですが、帳票のなかにはカラーでの出力が不可欠なものもあります。



体温・脈拍・血圧・呼吸数などの基本的サインをグラフ化して表示する『温度板』や患者様のベッドサイドに掲示し輸血のミスを防ぐ『血液型カード』、薬の効能や形状・色を表示した『薬事情報シート』などです。「理解性、間違いを防ぐという意味でもカラー印刷は必須です」(鈴木様)。



千葉大学 講師 医学部附属病院 企画情報部
医学博士 認定内科専門医
鈴木 隆弘 様

2系統のプリンター管理と 任意に出せるカラー出力が問題に

同病院では、以前はナースステーションやICUなどのセクションごとに、リコー製カラーレーザープリンターとコピー機兼用の他社製モノクロ複合機の2台を設置し、使い分けていたそうです。各帳票はそれを扱うPC端末、プログラムが決まっており、出力先プリンターも固定。別にカラーで出したい時は、手動でプリンター選択を行っていたため、印刷ミスや unnecessary カラー出力が問題でした。「プリンターが2系統あることで、プログラム上の互換性の低さや管理の手間がありました」(鈴木様)。そこで2007年1月のシステムリプレイスでは、スペース効率、管理面の改善から、カラー複合機を各セクションに1台ずつ設置することを検討。そして、

カラー印刷の出力設定の制御に関して、各プリンターメーカーに問い合わせたところ、最初に具体的な提案を行ったのがリコーでした。「実際に病院の環境でテストを行い、目の前で実演していただいた。安心して決めることができました」(鈴木様)。

出力条件の自動化でカラー出力を 制御し、コスト削減を徹底

リコーが今回ご提案したのは、自動プリント設定ソリューション『Ridoc IO DataSelector』とデジタルフルカラー複合機『imagio MP C3500 SPF』/『imagio MP C2500 SPF』を組み合わせたソリューション。『Ridoc IO DataSelector』は、印刷データ内の文字列や印刷ジョブ名から任意のキーワードを検出し、帳票種別を識別して自動的に用紙サイズやカラー設定などの出力条件を切り替えて印刷できます。同病院では、カラー印刷が必要な帳票のジョブ名、キーワードを設定し、それ以外は強制的にモノクロ印刷されるように設定。たとえば『血液型カード』は自動的にカラーで、ホームページなど特にカラーで出す必要のないものはモノクロで出力されます。



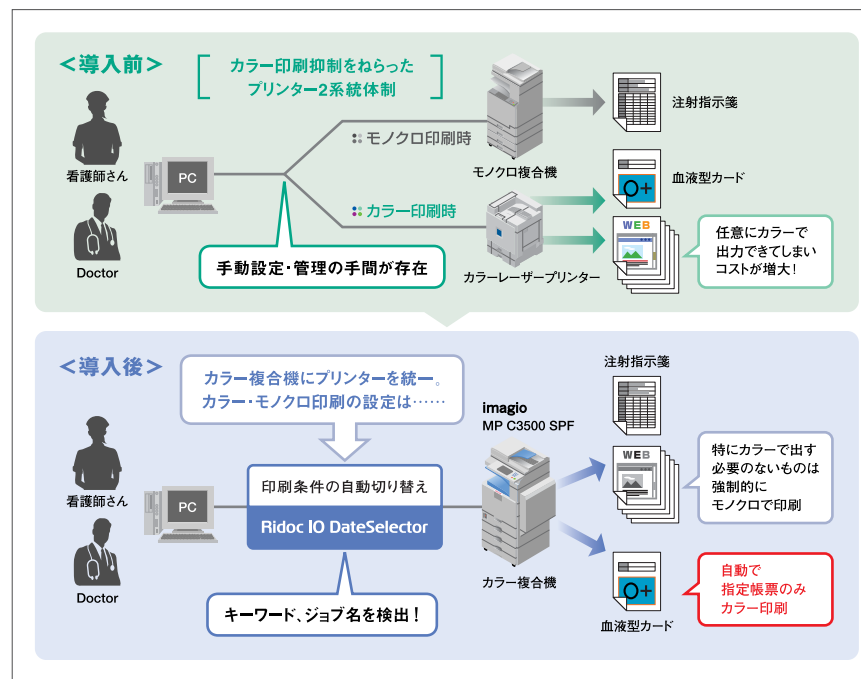
事前に設定されたジョブ名、キーワードを検出し、カラーで出力。

ムダなカラー印刷をなくし、運用コストの削減を実現しました。「ユーザーは特に意識することなく印刷指示するだけで、適切にカラーかモノクロ印刷が選択される。当初は、3帳票がカラー印刷の対象でしたが、業務の中でやはりカラーで出力したいという要求がいくつか出てきた。そんな時も、その都度必要に応じて、追加設定を簡単に行うことができます。いまでは7帳票が対象です」(鈴木様)。ユーザーと管理者、双方にとって非常に使い勝手が良いとの評価をいただきました。

さらに質の高い医療の 研究・提供を目指す

同病院では、2008年5月、同敷地内に最新設備を備えた新病棟が完成予定。新病棟

の印刷環境にも『Ridoc IO DataSelector』をご導入いただける予定です。「使いやすさや正確な医療業務のためにも、紙文書は必須ですが、コスト・環境面を考え、ムダな印刷は極力減らす。一方、紙の機能性は高めていきたい。今は使用していませんが、セキュリティ強化のため『Ridoc IO DataSelector』のもつ地紋印刷機能に興味があります」(鈴木様)。同病院では院外処方箋は、外来ドクターの手元で印刷、押印し、直接患者様に手渡しています。そのためにも、より省スペースでローコストなプリンターの開発を、とのご要望をいただきました。私たちリコーもより質の高い医療環境構築をサポートしていくために、便利で役立つソリューション、高機能なプリンターの開発を続けてまいります。



RICOH Printing Solution
自動プリント設定ソリューション
「Ridoc IO DataSelector」
http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/related_goods/dataselector

リコーホームページ
<http://www.ricoh.co.jp>

<主な機能>
●印刷カラー設定 (カラー/モノクロ指定・色分解印刷)
●トナーセーブ設定
●両面・集約設定
●給紙トレイ設定
●後処理設定 (パンチ・ステープルなど)
●ヘッダー・フッター設定
●地紋印刷設定

Operius
“Operius”それは経験と創造力でご支援する「ワークスタイルの変革」
<http://www.ricoh.co.jp/operius/>



[千葉大学医学部附属病院]

- 設 立 : 明治7年
- 病 床 数 : 835床
- 外来患者数 : 約1,800人/日
- 診療科数 : 29科
- 所 在 地 : 千葉県千葉市中央区玄倉 1-8-1
- 職 員 数 : 医師:135名/看護師:471名/その他スタッフ:825名
- U R L : <http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>